

質問者	「タカノフ気象予報士」さん
項目	tsulunosでの防災気象番組の放送について
内容	県庁内のスタジオで防災気象番組を放送し、県民に詳細な防災気象情報を伝える試みをしてみませんか？
回答	<p>県庁ではtsulunosを活用した情報発信を進めております。台風や大地震などの際に防災気象情報についてtsulunosを利用した情報発信を検討しているところです。</p> <p>例えば、今年の秋に台風が接近してきた際には、県に集まる様々な情報をお伝えする番組を放送したいと考えています。</p>

質問者	「こーし」さん
項目	ぐんまちゃんのブランド化について
内容	「ぐんまちゃんのアニメーション化・ブランド化」は、約3億円の予算が割かれる県の政策の中でも注目される政策の一つですが、世界に向けた発信の形や方法について、これから具体的に定まっていくのでしょうか？
回答	<p>ぐんまちゃんは、群馬県が誇るキラーコンテンツであり、そのポテンシャルは世界にも通用すると思っています。</p> <p>アニメは世界に通じる日本が誇る強力コンテンツであり、その効果や影響が非常に大きいです。今回のアニメ化は、ぐんまちゃんの魅力やブランド力を高める最も効果的なツールであると考えました。</p> <p>アニメの放送や配信先については、今後、詳細が決定しだい公表します。テレビやネットを中心に多くの方が視聴できる展開を目指しています。</p> <p>世界に向けた発信方法については、今まさに具体的に詰めているところです。インターネットの普及で世界中に拡散できることから、例えば、外国語字幕をつけてインターネット配信することなどを検討しています。</p>

質問者	「ミックス」さん
項目	発達障害を抱えた子どもへの教育について
内容	<p>子供の就学を迎え、群馬県の特別支援学級への支援に不安を感じています。専門的な知識、教育を学んだ先生方の配属をもっと増やしてください。</p> <p>発達障害を抱えた子供の中には、特別な能力を持った子が沢山います！能力を伸ばせる教育環境を整え、群馬県から世界で活躍できる人材を育ててください！</p>
回答	<p>県教育委員会では、小中学校の教員を対象に、特別な支援を必要とする児童生徒の特性の理解や一人ひとりに合わせた対応方法など、特別支援教育に関する専門的な知識を学ぶ研修を実施しています。</p> <p>また、特別支援学級の担当者だけでなく、学校全体で特別支援教育への理解を深め、校内での支援体制の充実を図っています。</p> <p>子供たちの個性や特性を伸ばすことは、とても重要です。個別最適な学習のため、一人一台PCの活用を進め、新たな時代を切り拓く「始動人」の育成に努めたいと考えます。</p>

質問者	「イチゴ」さん
項目	発達障害児への教育現場での合理的配慮について
内容	子供が学習障害のため、代読やルビ付きの教科書の対応を要望してきました。中学校では対応してもらっていますが、高校受験では「学習障害で認めた例はないため、対応を約束できない」と言われました。ぜひ、進んだ対策をしている県から学び、障害児も取り残さない群馬県の教育をお願いします。
回答	<p>すべての教職員が、合理的配慮の提供について理解するまでには至っていない現状もあるようですので、学校で取り入れるべき合理的配慮について、生徒本人や保護者の方と丁寧に相談を進めてもらうよう、伝えたいと思います。</p> <p>高校受験では、中学校生活で配慮や支援を受けている方が受験する場合や、入学後に配慮が必要な場合には、公平・公正を確保した上で、これまでも、学習障害も含めて様々な障害や病気に個別に対応しています。</p> <p>過去には、読み書きに困難がある生徒のための補助具の貸出しなどの配慮を行ってきましたので、中学校を通じて県教育委員会の担当課へ御相談いただければと思います。県のWebページにも過去の事例を載せてありますので、参考にしてください。</p> <p>なお、本県では、県教育委員会において、毎年度、障害者差別禁止法の趣旨や合理的配慮の提供について、管理職や教職員向けの各種会議・研修会で取り上げるなど、周知を図っています。</p> <p>また、将来的には、代読やルビの表示がデジタル教科書により可能になると考えられますが、児童生徒の視力低下や動作の安定性の問題なども考慮したうえで、今後も活用を研究していきます。</p>

質問者	「成龍」さん
項目	シニアの就労支援について
内容	70歳までの雇用が企業の努力義務となりましたが、現実には60代での再就職はなかなか困難な状況です。シニアの就労支援について、いかがお考えでしょうか？
回答	<p>高齢者の方に、これまでに培った豊富な知識や技術、経験を發揮して働いていただくことは、ご本人が健康でいきいきと暮らしていくためにも、また、地域活力の向上にとっても大事なことを考えています。</p> <p>県では、ジョブカフェぐんま高崎センター内に設置した「群馬県シニア就業支援センター」で、働く意欲のある高齢者の方を対象に、それぞれの状況に応じた個別相談を行っていますので、ぜひご活用ください。</p> <p>また、短期で、軽易な仕事を希望されるときは、各市町村のシルバー人材センターで業務の提供を行っていますので、登録を検討してみたいかがでしょうか。</p>

質問者	「やまさん」さん
項目	オリンピックの開催について
内容	反対意見の多いオリンピックを開催する意義はありますか。
回答	<p>現在、全国的に新型コロナウイルスの感染が拡大しており、東京2020オリンピックを開催するには、安全・安心の確保が何より重要だと考えます。</p> <p>一方、大会の開催は、日本全体に勇気とエネルギーを与え、また経済効果も期待でき、群馬県にとっても大きな効果があると考えます。</p> <p>開催には多くの課題があるかと思いますが、このようなコロナ禍において、大会を開催すること自体が、世界に大きな価値をもたらします。そのためにも、これ以上感染が拡がらないよう、県としても最大限の努力をして参ります。</p>

質問者	「馬好き」さん
項目	乗馬の振興と動物愛護について
内容	<p>群馬県は唯一の馬が付く県であるにも関わらず、乗馬の普及率が少ないと思います。乗馬を盛んにすると群馬県の新しいイメージ作りに役立つのではないのでしょうか？乗馬は動物愛護にも繋がりますし、健康な体作りにも役立ちます。</p> <p>知事の動物愛護に関する考え方をお聞きできれば嬉しく思います。</p>
回答	<p>前橋市富士見町には「群馬県馬事公苑」という県有の乗馬施設があり、誰でも気軽に乗馬を楽しんでもらうため、ビジター制（入会金・月会費不要）を採用しています。</p> <p>動物愛護の精神が身についたり、馬に関する知識や乗馬の楽しさも体験できますので、ぜひ多くの県民の皆様にご利用して頂きたいと思えます。</p> <p>最近では、ペットを家族の一員として迎える家庭が増えており、お世話やふれあいをして日々過ごす中で、幸福感を得ている方も多いと思っています。</p> <p>群馬県では、人と動物のよりよい関係が築けるよう、動物ふれあい推進事業やぐんま犬猫パートナーシップ制度を実施して、動物愛護を推進しています。</p> <p>ペットを飼われている皆さん、また、これからペットと生活していこうと考えている皆さん、ペットは家族と一緒にですから、是非とも最後までかわいがっていただきますようお願いいたします。</p>

質問者	「スーさん」さん
項目	奨学金返済の補助制度について
内容	奨学金を利用して県内の大学を卒業し、県内に就職した人に対して、奨学金返済の補助制度を設けてほしい。
回答	<p>県では、若者の群馬県への就職を促進し、県内定着を図るため、従業員の奨学金返還支援を行う中小企業の取組を支援する補助金を設けています。</p> <p>この補助金は、県内に本社がある中小企業を対象としています。そして、補助対象となる企業に正社員として勤務し、日本学生支援機構による奨学金の返還を行っている方を支援対象としています。</p> <p>この制度は、令和2年度から導入しています。今後、さらに多くの若者に支援が行き届くよう、県内の中小企業に積極的に周知を行ってまいります。</p> <p>詳細については、担当課である戦略企画課にぜひご相談いただければと思います。</p>

質問者	「あーるい」さん
項目	県立高校の特別教室へのエアコン設置について
内容	県立高校の普通教室には、エアコンが設置され稼働していますが、今後、音楽室等の特別教室へのエアコン設置は検討していただけないでしょうか？
回答	<p>子どもたちがより良い環境の中で、学業に励むことができるようにすることは大事なことであり、県立高校では、全ての普通教室にエアコンを設置しています。</p> <p>特別教室へのエアコン設置については、これまで、音楽室やコンピュータ室、図書室、視聴覚室などに整備しておりますが、設置率は約35%となっております。</p> <p>今年度においても、音楽室への整備が済んでいない高校への整備を計画しており、引き続き、生徒の学習環境の改善に努めてまいります。</p>